

高山市市道に設ける案内標識等の寸法を定める条例の概要について


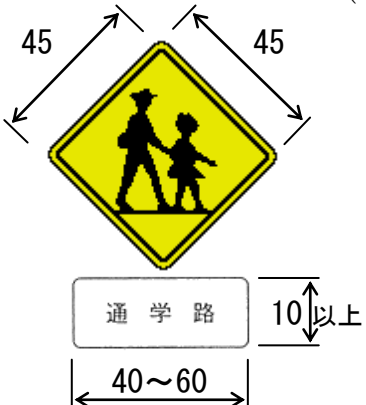
1. 市道に設ける案内標識等の寸法の基準

国の参酌基準（現行と同じ。）と同じ内容とする。ただし、次に掲げる事項については、参酌基準によらないものとする。



- (1) 日本字に併せて表示するローマ字の大きさは、日本字の大きさの10分の7とする。（県条例と同じ。）
- (2) 伝統的建造物群保存地区又は市街地景観保存区域において、交通の安全等に支障のない範囲内で当該寸法を縮小できる。（市独自の基準）

(参考)

1 国の参酌基準と同じ内容で定めるものの例

[案内標識]	[警戒標識]・[補助標識]
 <p>(c m)</p>	 <p>(c m)</p>

2 県条例と同じ内容で定めるものの例

日本字に併せて表示するローマ字の大きさは、日本字の大きさの10分の7とする。	
<p>(参酌基準)</p>  <p>(60 x 160)</p>	<p>(市条例における基準)</p>  <p>(60 x 160)</p>